

新エネルギーで持続可能な環境づくり、まちづくり



お問い合わせ
ゼロエミッション推進室
☎951-3392
事務室移転の都合により
4月1日までは☎861-3244

市では、地球環境の改善、エネルギー問題への対応策として「新エネルギー」の導入を推進することを目的に「那覇市新地域エネルギービジョン」を策定しました。

地域の特性を活かしたクリーンエネルギーの普及を、はかり、持続可能な環境を築くべく「クリーン・エネルギー都市」の実現をめざします。

地球の現状



20世紀の石油や石炭など化石燃料の大量消費による二酸化炭素(CO₂)の増加は、地球温暖化を招き、すでにその影響が、世界各地の気象や生態系、産業に現れはじめています。しかし、私たちはエ

地球温暖化を防止し、将来のエネルギーを確保していくためには、エネルギーの節約とともに化石燃料に頼らない「新エネルギー」の導入が必要で

入に頼っています。

新エネルギーとは

国が定めた「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」では、「技術的に実用段階に達しつつあるが、経済性の面で制約から普及が十分でないもので、石油代替エネルギーの導入を図るために特に必要なもの」と定義されています。

具体的には、太陽光や風力、バイオマス(★①)等の自然エネルギーを利用したものと、クリーン・エネルギー自動車(ハイブリッドを含む★②)や水素を利用した燃料電池、ごみを集めて発電する廃棄物発電、天然ガスコージェネレーション(★③)などがあります。

導入のメリット

1. 地球温暖化対策
再生可能エネルギーを使用することで、無尽蔵で枯渇の心配がなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を増やしません。

2. エネルギーの安定供給
日本は約8割のエネルギーを海外からの輸入に頼っています。新エネルギーは、地域で安定して確保できます。

新エネルギー導入プロジェクト

新エネルギーは、幅広い分野に関連しているため、新しい産業や雇用の創出など地域経済の活性化が期待できます。みなで進めていこう

クリーンエネルギー交通プロジェクト

市内の交通体系を見直すとともに、公共交通機関(ヘクリン)エネルギーの導入を図ります。現在、公用車としてハイブリッド車を二台導入し、設置を働きかけます。

環境学習・情報提供プロジェクト

今後は市の施設へ率先して導入するほか、市民や事業者が公衆を、省エネや新エネルギーの導入の効果を紹介する日々の暮らしの中に環境問題があります。一人ひとりがまず身近にできる省エネルギー生活を実践し、循環型社会の実現に取り組みしましょう!

太陽光発電普及プロジェクト

市では、平成14年度から学校や市営住宅などへ導入し、電力として使用するほか、環境学習の教材として活用しています。

まぢづくりの課題解決

今まで捨てられていたものからエネルギーを取り出せば、その結果、ごみ減量や地域の環境改善につながります。

新エネルギーのいろいろ

再生可能エネルギー	
自然エネルギー	リサイクルエネルギー
自然界のエネルギーで、どんなに使ってもなくなる(再生可能な)エネルギーです。	ごみを燃やして発電したり、工場の廃熱など未使用のエネルギーを活用するなど、今まで捨てていたものを資源やエネルギーとして再利用するものです。
<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電 太陽熱利用 風力発電 雪氷熱利用 	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス発電 バイオマス熱利用 バイオマス燃料製造 廃棄物発電 廃棄物熱利用 廃棄物燃料製造 温度差エネルギー

従来型エネルギーの新しい利用形態

今まで使用していた化石燃料などを新しいアイデアや技術で効率よくクリーンに利用するものです。

- クリーン・エネルギー自動車
- 天然ガスコージェネレーション
- 燃料電池

新エネルギーの導入促進・普及に取組んでいきます。

プロジェクトには、地域等との調整や仕組みづくりなどが必要となってくるものがありますので出来るものから順次進めていきます。



市立宇栄原小学校に設置されている太陽光・風力ハイブリッド発電設備

「住宅用太陽光発電設置システム」の補助金を活用しよう!

住宅用の太陽光発電システムの設置には、市と国から補助があります。

※平成17年度の補助内容については、お問い合わせ下さい

お問い合わせ ゼロエミッション推進室 ☎951-3392
事務室移転のつごうにより4月1日までは☎861-3244



ガソリンと電気で作るハイブリッド車

新エネルギーは、幅広い分野に関連しているため、新しい産業や雇用の創出など地域経済の活性化が期待できます。みなで進めていこう

今後は市の施設へ率先して導入するほか、市民や事業者が公衆を、省エネや新エネルギーの導入の効果を紹介する日々の暮らしの中に環境問題があります。一人ひとりがまず身近にできる省エネルギー生活を実践し、循環型社会の実現に取り組みしましょう!

また、宮古島で実証実験中のバイオエタノール燃料の使用も今後の検討課題です。

廃食用油燃焼プロジェクト
家庭や事業所から出る廃食用油を利用し、ディーゼル代替燃料やボイラー燃料として使用します。今まで、ごみとして処分していた廃食用油を環境負荷の少ない燃料として再利用します。

生ごみバイオガス製造活用プロジェクト
モデル地区を設定し、家庭や事業所から出る生ごみを回収します。小型のバイオガスプラントを導入し、ガスを発生させ燃料として利用します。

環境学習・情報提供プロジェクト
市の広報紙やホームページに環境コーナーを設け、継続して情報発信を行います。

また、エネルギーモニターを導入するほか、省エネや新エネルギーの導入の効果を紹介する日々の暮らしの中に環境問題があります。一人ひとりがまず身近にできる省エネルギー生活を実践し、循環型社会の実現に取り組みしましょう!

また、宮古島で実証実験中のバイオエタノール燃料の使用も今後の検討課題です。

廃食用油燃焼プロジェクト
家庭や事業所から出る廃食用油を利用し、ディーゼル代替燃料やボイラー燃料として使用します。今まで、ごみとして処分していた廃食用油を環境負荷の少ない燃料として再利用します。

生ごみバイオガス製造活用プロジェクト
モデル地区を設定し、家庭や事業所から出る生ごみを回収します。小型のバイオガスプラントを導入し、ガスを発生させ燃料として利用します。

環境学習・情報提供プロジェクト
市の広報紙やホームページに環境コーナーを設け、継続して情報発信を行います。

また、エネルギーモニターを導入するほか、省エネや新エネルギーの導入の効果を紹介する日々の暮らしの中に環境問題があります。一人ひとりがまず身近にできる省エネルギー生活を実践し、循環型社会の実現に取り組みしましょう!

具体的には、太陽光や風力、バイオマス(★①)等の自然エネルギーを利用したものと、クリーン・エネルギー自動車(ハイブリッドを含む★②)や水素を利用した燃料電池、ごみを集めて発電する廃棄物発電、天然ガスコージェネレーション(★③)などがあります。

まぢづくりの課題解決

今まで捨てられていたものからエネルギーを取り出せば、その結果、ごみ減量や地域の環境改善につながります。

市では、平成14年度から学校や市営住宅などへ導入し、電力として使用するほか、環境学習の教材として活用しています。

また、宮古島で実証実験中のバイオエタノール燃料の使用も今後の検討課題です。

廃食用油燃焼プロジェクト
家庭や事業所から出る廃食用油を利用し、ディーゼル代替燃料やボイラー燃料として使用します。今まで、ごみとして処分していた廃食用油を環境負荷の少ない燃料として再利用します。

生ごみバイオガス製造活用プロジェクト
モデル地区を設定し、家庭や事業所から出る生ごみを回収します。小型のバイオガスプラントを導入し、ガスを発生させ燃料として利用します。

環境学習・情報提供プロジェクト
市の広報紙やホームページに環境コーナーを設け、継続して情報発信を行います。

また、エネルギーモニターを導入するほか、省エネや新エネルギーの導入の効果を紹介する日々の暮らしの中に環境問題があります。一人ひとりがまず身近にできる省エネルギー生活を実践し、循環型社会の実現に取り組みしましょう!

具体的には、太陽光や風力、バイオマス(★①)等の自然エネルギーを利用したものと、クリーン・エネルギー自動車(ハイブリッドを含む★②)や水素を利用した燃料電池、ごみを集めて発電する廃棄物発電、天然ガスコージェネレーション(★③)などがあります。

まぢづくりの課題解決

今まで捨てられていたものからエネルギーを取り出せば、その結果、ごみ減量や地域の環境改善につながります。

市では、平成14年度から学校や市営住宅などへ導入し、電力として使用するほか、環境学習の教材として活用しています。

また、宮古島で実証実験中のバイオエタノール燃料の使用も今後の検討課題です。

廃食用油燃焼プロジェクト
家庭や事業所から出る廃食用油を利用し、ディーゼル代替燃料やボイラー燃料として使用します。今まで、ごみとして処分していた廃食用油を環境負荷の少ない燃料として再利用します。

生ごみバイオガス製造活用プロジェクト
モデル地区を設定し、家庭や事業所から出る生ごみを回収します。小型のバイオガスプラントを導入し、ガスを発生させ燃料として利用します。

環境学習・情報提供プロジェクト
市の広報紙やホームページに環境コーナーを設け、継続して情報発信を行います。

また、エネルギーモニターを導入するほか、省エネや新エネルギーの導入の効果を紹介する日々の暮らしの中に環境問題があります。一人ひとりがまず身近にできる省エネルギー生活を実践し、循環型社会の実現に取り組みしましょう!

2005年 国勢調査 調査員 募集

受付期間 4月11日(月)～4月28日(木)
午前9時～午後5時(土・日曜日を除く)
※認印、預金通帳をご持参ください。

受付場所 市役所本庁1階ロビー

応募資格 20歳以上で、健康で責任をもって調査を行える方 ※電話連絡可能な方

募集人員 約1,800人

報酬 約40,000円
(調査世帯数により増減あり)

調査期間 9月20日～10月15日頃

お問い合わせ
国勢調査那覇市実施本部
経営企画室統計係(新都心銘珣庁舎4階)
☎951-3223

市民会館35周年記念事業コンサート

合唱参加者を募集します!

応募条件 ①②ともに参加可能で、合唱経験者、楽譜の読める方、練習に参加できる方

曲名 ハイドン作曲「天地創造」
(※ドイツ語ですが、丁寧に指導します)

募集期間 4月1日(金)～20日(水)

事業名 ①那覇市民会館35周年記念コンサート「音楽づくりの秘密大公開!!」
②「県立芸術大学洋楽定期公演」

期日 ①10月16日(日) ②10月23日(日)

場所 那覇市民会館大ホール

お問い合わせ 文化振興課 ☎855-5081

4月1日から 那覇市上下水道局 になりました

那覇市水道局と下水道管理室・下水道建設課を組織統合し、「那覇市上下水道局」になりました。

取り扱い業務(内容)	担当課
上下水道及び再生水の利用料金・使用水量について	料金課 ☎832-4178
水道管から水が漏れているを発見したとき 理由もなく使用水量が大幅に増えたとき	管理課 ☎832-4175
断水・水圧低下・赤水・水質等について	配水課 ☎832-4174
道路の水道工事について	工務課 ☎832-4170
公共下水道のつまり等を発見したとき トイレを水洗化したいとき	下水道課 ☎951-3240
再生水の利用について	

※統合による事務所の移転はありません。
水道部門→上下水道局庁舎(旧水道局) 下水道部門→新都心銘珣庁舎
ホームページアドレス http://www.water.naha.okinawa.jp

お問い合わせ
那覇市上下水道局企画経営課 ☎832-4173

ラジオ「那覇市民の時間」は毎週土曜日午後4:30～(RBC738kHz)。みんなで聞いてね!!